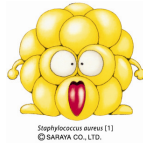


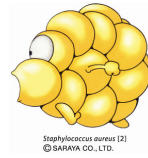
# 院内感染対策だより ブドウ球菌のはなし

第21号  
H25.11.6



**MRSA? MSSA? CNS? MRS?**

培養結果に略字がたくさん出てきて迷ってはいませんか？



## ブドウ球菌：Staphylococcus

広く自然界に分布し、私たちの身体各所にも常在菌として存在している

<グラム染色（菌を分別する検査）> **グラム陽性球菌**

<主な種類>

- ・ **S. aureus** (黄色ブドウ球菌)：ヒトに対し病原性が強くエンテロトキシンという毒素を産生し食中毒を引き起こすものもある
- ・ **S. epidermidis** (表皮ブドウ球菌)：ヒトに対し病原性は弱いものの体力の衰えた高齢者や免疫の低下しているような患者の日和見感染症の原因となる
- ・ **S. saprophyticus** (腐敗ブドウ球菌)：ヒトに対し病原性はないとされている

### ◆ **MRSA** :Methicillin-resistant *Staphylococcus aureus*(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)

黄色ブドウ球菌はペニシリナーゼ耐性のメチシリン（抗菌薬）に対し、メチシリンがブドウ球菌に結合して作用させている部位を変化させて、メチシリンを結合できなくすることで新たな耐性を獲得しました。抗菌薬ではすべてのβラクタム剤に耐性であるほか、キノロン系、テトラサイクリン系、マクロライド系、クリンダマイシン、アミノグリコシド系にも耐性であることが多くとされています。

#### ・ **MRSA** の分類

- ① **院内感染型 MRSA** (hospital-associated MRSA : **HA-MRSA**) :  
入院歴やカテーテルの使用、透析などの医療行為に関わる患者に多くみられる。
- ② **市中感染型 MRSA** (community-associated MRSA : **CA-MRSA**) :  
小児や若年健常者の皮膚感染などにみられる。学校での流行や健常人の感染などでも注意。



### ◆ **MSSA** :Methicillin-sensitive *Staphylococcus aureus*(メチシリン感受性黄色ブドウ球菌)

MSSA とはこれらのメチシリン等が効く黄色ブドウ球菌を意味します。わが国ではメチシリン等のタイプのペニシリン剤は流通していませんが、ペニシリナーゼ阻害剤（スルバクタム、タゾバクタム、クラブラン酸）を加えた合剤が流通しており治療に用いられています。

### ◆ **CNS** :Coagulase Negative *Staphylococcus*

コアグララーゼ試験が陰性のブドウ球菌の総称です。S. aureus 以外のブドウ球菌を意味します。

### ◆ **MRS**:methicillin resistance *CNS*(メチシリン耐性 *CNS*)

ほとんどの場合はメチシリン耐性の S. epidermidis (表皮ブドウ球菌) を意味します。基本的に“MR : Mechicillin-resistant” の文字がつくと、抗菌薬に対する感受性テストでいかに感受性があるようにみえても MRSA と同様に多くの抗菌薬に耐性の事が多いため、治療の際には抗 MRSA 剤の投与が必要と考えられています。



#### 参考文献

- ・ 医学要点双書 (9) 微生物学 金芳堂
- ・ レジデントのための感染症診療マニュアル 第2版 医学書院
- ・ MRSA 感染症の治療ガイドライン 日本化学療法学会・日本感染症学会



バンコマイシン使ってる人って  
みんな **MRSA** 感染患者？

いいえ、そうとは限りません！

当院では現在バンコマイシンは注射用と内服用と点眼用(院内製剤)があります。

#### ◆注射用バンコマイシン(正式名称:塩酸バンコマイシン点滴静注用)

主に **MRSA** 感染症の治療に使われていますが、適応（保険診療上認可されている疾患）には **PRSP**（ペニシリンが無効でバンコマイシンが有効な肺炎球菌）感染症も含まれます。症例によっては **MRS** の治療に使用されることもあります。これは保険適応ではありません。また、保菌状態の患者さんには基本的には使用しません。肺炎の場合は痰などから、皮膚感染症の場合は創交ガーゼなどからの院内感染が occurs。正しい接触感染予防をしましょう。

(接触感染対策：院内感染対策マニュアル p23~30 参照)

#### ◆内服用バンコマイシン(正式名称:塩酸バンコマイシン散)

主に **MRSA** や **CD** (クロストリジウム・ディフィシル) による感染性腸炎に使われます。バンコマイシンは内服した場合、腸管内にいる菌に対してのみ有効です。

バンコマイシンを内服している患者さんの排泄物は感染性のもので取り扱わなければいけません。

(CD 対策：院内感染対策マニュアル p77~79 参照)

#### ◆点眼用バンコマイシン

注射用バンコマイシンから薬剤部製剤室で院内製剤として調製しています。適応外使用となります。他の抗菌点眼液が無効の場合に使用します。主治医の判断で使用されるもので **MRSA** 感染症とは限りません。



### MRSA の M ってなあに？

<メチシリンの M>

もともと黄色ブドウ球菌はペニシリン G が有効でしたが、ペニシリナーゼという酵素を産生するように変化し、ペニシリン G に耐性となりました。このためペニシリナーゼで壊れないペニシリン（ペニシリナーゼ耐性ペニシリン）として **メチシリン** 等が作り出され、治療されるようになりました。安定性の問題から現在日本ではほとんど用いられていません。

## 平成25年度感染対策ラウンド報告

医療関連感染の予防と感染対策の向上を図るため、第三者的視点から検証を実施し、それぞれの病院の感染対策の強化、改善につなげることを目的としてほかの病院との感染対策のラウンドを行っています。

私立医科大学病院感染対策協議会医療安全相互ラウンドは産業医科大学若松病院（北九州市）、感染防止対策地域連携加算での感染対策ラウンドは富山県立中央病院、富山赤十字病院と連携を取ることにしました。

先日、訪問がありましたので報告いたします。

- ◆ 実施日：平成25年10月18日（金）
- ◆ 訪問側病院：産業医科大学若松病院 5名（医療安全部門3名、感染対策部門2名）  
感染対策部門：吉井 千春感染制御部長、榎本 誠病院感染対策者

書類審査・ヒアリングの後、各部署のラウンドを行い、吉井感染制御部長から感染対策に関して、大変高い評価をいただきました。

- ・ 病院長によるラウンドや抗菌薬や環境ラウンドが充実している
- ・ 部署ごとにカンファレンスを行っている

指摘事項として1階リネン室の整理整頓が挙げられました。

